

## 第18回かがわ型グリーン・ツーリズム体験ツアー

「豊島歩きのススメ！棚田米の収穫&ピザ焼き体験ツアー」が開催されました。

かがわグリーン・ツーリズム推進協議会の主催により、標記ツアーが平成26年10月25日（土）土庄町豊島で開催され、9組21名の方に参加いただきました。

「豊島農民福音学校跡・ピザ工房」では、地元の方々と交流しながら、ピザ生地をのばし、島野菜を盛り付け、ロシア式の石釜(50年以上前に設置)で焼き上げました。

石窯の仕組みは、中で薪を焚き、高温になれば中の薪を取り出し、材料を入れて余熱(遠赤外線 効果)で外側と内側から同時に焼くことで、外がパリッと、中がもちもちに焼きあがるものです。参加者は、一度に生地13枚が入る大きな釜の仕組みに興味津々で、薪を取り出す様子を見学したり、新鮮な野菜に感心の声をあげたりしながら、質問や会話を楽しみました。

昼食の場は、広場にパラソルと椅子を設置。青空の下、高台からの景色や放牧された牛を近くに眺めながらくつろぐ昼食も、印象に残る演出となりました。



「豊島の棚田収穫体験」では、収穫会場の本部テントから、ボランティア楽団「こえびカンダダン」と共に棚田までの賑やかな行進(約400m)から始まり、棚田保存会の方々の指導で、稲刈りからはぜかけ作業までを行いました。

当初は慣れない鎌使いで恐る恐る刈り取っていた子供たちも、次第にコツを掴み、張り切って稲刈りに挑戦する姿が見られました。稲の束ね作業は初心者には難しかったようで、保存会の方から教わりながら、大小様々な稲束を作成。

最後に木の棒で組みあげた“はぜ”に稲束をかけていく作業では、皆が協力して順序良く進め、時間よりも早く予定面積を終了しました。棚田からの景色も抜群で、合間をみては写真を撮った

り、あぜで景色を眺めながら談笑する声が聞こえました。



自由時間では、収穫祭会場を楽しんだり（太鼓演技の観覧、ヤギとのふれあい、出店巡り、スタンプラリー参加など）、豊島美術館を訪れたり、約1時間、島の人たちとの交流や、のんびりした時間を楽しむ姿が印象的でした。

参加者から頂いたアンケートは、より良いモデルの構築に向け活かしていきたいと思います。

